

平成25・26年度 土木学会複合構造委員会 第2回幹事会 議事録

日 時 : 平成25年 7月30日 (火) 14:00～17:00

場 所 : 土木学会 B会議室

出席者 : 島委員長, 奥井副委員長, 池田幹事長, 大久保幹事, 大山幹事, 葛西幹事, 斉藤幹事, 滝本幹事, 西崎幹事, 広瀬幹事, 古市幹事, 牧幹事, 溝江幹事, 渡辺幹事, 竹原事務局, 久米村事務局
(欠席者: 下村幹事, 松本幹事)

配布資料:

- 資料 幹2-0 第2回複合構造委員会幹事会議事次第
- 資料 幹2-1 第1回複合構造委員会幹事会議事録 (案)
- 資料 幹2-2 第1回複合構造委員会議事録 (案)
- 資料 幹2-3 「複合構造物を対象とした防水・排水技術の現状」および「巨大地震に対する複合構造物の課題と可能性」合同講習会プログラム
- 資料 幹2-4-1 第10回複合・合成シンポジウム参加募集案内
- 資料 幹2-4-2 第10回複合・合成シンポジウム特別講演
- 資料 幹2-5-1 土木学会論文集特集号編集小委員会 第1回会議議事録 (案)
- 資料 幹2-5-2 土木学会論文集A1(構造・地震工学)・複合構造特集号投稿要項 (案)
- 資料 幹2-6 平成25年度年次学術講演会・研究討論会
- 資料 幹2-7-1 出版関係(複合構造レポート07 複合構造物を対象とした防水・排水技術の現状)
- 資料 幹2-7-2 出版関係(複合構造レポート08 巨大地震に対する複合構造物の課題と可能性)
- 資料 幹2-8-1 平成25年度調査研究拡充支援金の配分について (ご連絡)
- 資料 幹2-8-2 平成25年度複合構造委員会予算案
- 資料 幹2-9-1 小委員会一覧
- 資料 幹2-9-2 H101 示方書委員会 (委員の追加)
- 資料 幹2-9-3-1 H180 FRP水門設計ガイドライン作成小委員会 工程表
- 資料 幹2-9-3-2 H180 FRP水門設計ガイドライン (案) 2013年7月4日版
- 資料 幹2-9-3-3 H180 FRP水門設計ガイドライン (案) 2013年7月4日版 付属資料
- 資料 幹2-9-5 H208 FRP複合構造研究小委員会 活動報告
- 資料 幹2-9-7-1 H211 FRPと鋼の接合方法に関する研究小委員会 報告書作成と講習会までのスケジュールについて
- 資料 幹2-9-7-2 H211 FRPと鋼の接合方法に関する研究小委員会 出版企画書
- 資料 幹2-10-1 「土木学会の100年」原稿案
- 資料 幹2-10-2 「土木学会の100年」(参考) 鋼構造委員会
- 資料 幹2-10-3 「土木学会の100年」(参考) 構造工学委員会
- 資料 幹2-11-1 FRP建設材料に関する国際会議 (CICE2014) 上田先生からの後援依頼文書
- 資料 幹2-11-2 FRP建設材料に関する国際会議 (CICE2014) Chairからのinvitation letter
- 資料 幹2-11-3 FRP建設材料に関する国際会議 (CICE2014) Flyer
- 資料 幹2-12-1 調査研究部門2013年度計画への対応お願い
- 資料 幹2-12-2 調査研究部門2013年度計画

議事内容:

0. 委員長挨拶

開会にあたり, 島委員長より挨拶があった。また, 新しく事務局担当となった久米村事務局から挨拶があった。

1. 第1回幹事会議事録（資料 幹2-1）

溝江幹事より、前回幹事会議事録案が読み上げられ、承認された。

2. 第1回委員会議事録の確認（資料 幹2-2）

池田幹事長より、第1回委員会議事録案が読み上げられた。以下を修正して次回委員会に提出する。

「小委」→「小委員会」，「上田前委員長」→「上田元委員長」

3. 「防水・排水技術」および「巨大地震」合同講習会（資料 幹2-3）

溝江幹事より当日配布予定のプログラムについて説明があった。事前申し込み者40名とのこと。

4. 第10回復合・合成構造シンポジウム（特別講演等）（資料 幹2-4-1，幹2-4-2）

幹2-4-1に基づき、溝江幹事よりシンポジウムおよび現場見学会の参加募集案内の校正原稿について説明があった。建築側の要請により、現場見学会の定員が先着30名となったとのこと。以下の2点を修正する。

- ・問い合わせ先を竹原さんから久米村さんに変更。

- ・日本コンクリート工学協会→工学会に変更

幹2-4-2に基づき、土木側で挙げられている特別講演（基調講演）の候補3件（鋼管集成橋脚，東北縦貫線プロジェクト，北陸新幹線）について説明された。なお、日時は22日の午後に予定されている。

→ 審議の結果、「北陸新幹線プロジェクト」に決定し、池田幹事長から講演者の選定を依頼することになった。

5. 論文集特集号（資料 幹2-5-1，幹2-5-2）

葛西幹事より、編集小委員会議事録および投稿要項について説明があった。要点は以下の通り。

- ・招待論文（上田先生）には、執筆要領が確定次第、9月頃には正式な執筆依頼を出す予定。

- ・最終的な登載可否を決定する第3回委員会（1月予定）は、旅費の工面をお願いしたい。

- ・著作権に関わる記述は、論文集編集調整会議での新記述が間に合わないので、現状のままで公開予定。

- ・投稿の手引きについて、「著者・論文タイトルの変更」に関する記述を加える予定。

審議の結果、以下の通りとすることとなった。

- ・投稿要項の「1. 投稿資格」について、「著者には本会会員を含むこと」との但し書きをつける。

- ・著者とタイトルの変更について、シンポジウム投稿時からの変更は認める。ただし、その場合は併せて理由書を提出してもらうこととし、その旨を投稿要項に記載する。

関連して、論文集編集調整会議にA1分冊編集委員会から出席した斉藤幹事より、以下の点が指摘された。

- ・手引きと投稿要項の統合が編集調整会議で議論されているが、まだ進んでいない。参考文献の書式だけは現行の投稿要項に記載の書式に合わせておかないと、後々面倒なことになる可能性がある。

→ 現状の特集号投稿要項でも同じ書式となっており、問題ない。

さらに、特集号掲載論文のレベルを高める（A1分冊と同レベルをキープする）ための方策について議論され、以下の通りとすることとなった。

- ・推薦論文の著者から、よりよい論文とするために次年度への投稿希望があった場合には、適宜対応する。ただし、次年度への先送りを認めることがある旨は、投稿要項には記載しない。

- ・委員会報告（活動を終了した委員会）あるいは研究展望論文（活動の終了・継続を問わず）の執筆を各小委員会に要請することを、編集小委員会から幹事会に向けてあらためて依頼する。各小委員会の連絡幹事が次回幹事会で各小委員会での対応を報告する。

- ・活動を終了した委員会は、委員会報告あるいは展望論文の執筆投稿を必須とする。

6. 平成25年度全国大会・研究討論会（資料 幹2-6）

池田幹事長より、研究討論会（タイトル：土木構造物の持続性を考慮した300年プロジェクト）について説明があった。島委員長名での講演依頼も既に完了しているとのこと。

7. 出版関係（資料 幹2-7-1, 幹2-7-2）

大久保委員より、7/31合同講習会の複合構造レポート07・08の出版費用について説明があった。

- ・平成26年度に出版予定がある小委員会は、出版企画書を作成して大久保委員に提出する。大久保委員が取りまとめて9/30までに提出する。
- ・出版済み書籍の販売促進計画書を、大久保委員の方で作成して幹事会に回覧する。
- ・次回幹事会以降、直近の販売状況を幹事会で報告することとした。

8. 平成25年度予算案（資料 幹2-8-1, 幹2-8-2）

池田幹事長より、調査研究拡充支援金の配分について説明があった。それを受けて、今年度の複合構造委員会の予算について説明された。

- 6/20親委員会時の「120万円配分案」を若干修正したものを今年度予算とすることとした。
- 予備費が全体予算の1/3を占めている点について島委員長から指摘があり、予算費目として明示できるものは枠外に出して明示し、予備費は極力小さくすることとなった。

9. 小委員会報告審議事項（具体的な報告があった小委員会のみ記載）

H101 示方書小委員会（渡辺）（資料 幹2-9-2）

渡辺幹事、大久保幹事より、合成床版の施工について施工編に記述することを念頭に、施工編部会にこれを担当する2名の委員追加（橋建協より、宮地エンジニアリングの久保氏、日本橋梁の新井氏）が提案された。

- 幹事会としてはこれを了解し、全体委員会での審議事項（メール）とすることとなった。
- 設計編部会でも委員追加を考えているので、後日幹事会にメール回覧して幹事会の了解を得た後に、委員会の審議事項として一緒に挙げることとなった。

H180 FRP水門委員会（西崎）（資料 幹2-9-3-1～3）

ガイドライン（および付属資料）を作成中であり、8/9には幹事会での査読をお願いしたい。査読終了後、委員会への意見照会を経て、11月に脱稿予定。2/19に講習会を予定している。

- ガイドラインであるので、幹事全員による査読を行う。
- 次回幹事会で議論するので、その1週間前までに査読意見を西崎幹事宛に送ること。
- 島委員長より、8/9の幹事への送付時には、中島示方書小委員会委員長にも送付するよう指示があった。

H211 FRPと鋼の接合方法に関する調査研究小委員会（大久保）（資料 幹2-9-7-1～2）

講習会を11/12または11/11に土木学会講堂にて開催する予定である。報告書原稿はほぼ完成しているので、近々に幹事会での査読をお願いしたい。

- 査読担当は古市幹事と溝江幹事。さらに、松本幹事にも幹事長から依頼する。査読期限は8/23。

10. 次回幹事会

日時：9/5（木）14～17時（全国大会2日目）

場所：土木学会 B会議室。

11. その他（「土木学会の100年」の原稿執筆 等）

1) 「土木学会の100年」の原稿執筆（資料 幹2-10-1）

池田幹事長より、複合構造委員会の設立趣意書など、「発足の経緯」に関する資料や情報を持っている人は幹事長まで連絡すること。幹事長から伊藤顧問、大垣委員にも問い合わせる。

原稿の〆切は10月末であるので，次回幹事会で再度原稿を確認することとなった。

2) CICE2014への後援依頼（資料 幹2-11-1～3）

池田幹事長より，上田委員からの後援依頼文が説明され，幹事会としてはこれを了解した。

3) 調査研究部門の年度計画（資料 幹2-12-1～2）

池田幹事長より，2013年度の調査研究部門の年度計画について説明された。

4) 8月末をもって退職する竹原事務局から挨拶があった。

以上

（記録・文責 牧）